

FICC 国際交流研修

7月19日～20日に1年生国際コミュニケーションコースの生徒を対象に国際交流研修を行いました。

1年生国際コミュニケーションコースの生徒は、年度末にカナダへの語学研修も控えており、この研修では、生徒の英語力、コミュニケーション能力の向上を目指し、外部から2日間で合計8名のALTの先生をお招きして、実践的に英語を学んでいきました。

生徒は2日間、英語としっかり向き合い、研修が終わるころには、非常に充実した表情を浮かべていました。以下では、実際の研修の様子と研修を終えた生徒の声を紹介します。



一日中英語を使うのは大変だったけど楽しかったので普段の生活でも昼休みに英語を使うなど英語とできるだけ多く触れ合いたい。

レストランや空港で使える実用的な英語が学べてとても楽しかった。

今回の研修ではトライすることの重要性を学んだ。修学旅行などで海外のいくときには間違いを恐れず、積極的にコミュニケーションをとりたい。

ネイティブな発音やイントネーションを聞いて普段ではできない経験ができたと思う。

・コミュニケーションをとるときには言葉だけでなく、ジェスチャーや笑顔も大切にしなければならないと感じた。

研修が終わっても町で何らかの標識を見かけたり、テレビで日本語が聞こえてきたりすると「これ、英語だったらなんていうんだろう」と考えるくらい英語がもっと好きになった2日間でした！

自分の言いたいことを英語で伝えるのは難しかったけど、慣れていくと会話の中でよく使う単語や文法が分かってきて楽しかった。

広島のことを英語で伝えるということをしたが、伝えるためには自分がしっかり広島について知っておかなければならないと感じたので私の故郷である広島についてもっと知りたいという気持ちになれるいい機会となった。

生徒の声

私は以前から英語を話すときは文法ばかり気にしてしまってコミュニケーションを楽しめないことが多かった。しかし、今回は文法をあまり気にせず思うままに会話をしたためしっかり楽しむことができた。

2日目は英語を通して平和について学んでいきました。戦争をなくするにはどうすればいいかなどを考えていったが、固定概念をなくしていくこと、お互いを尊重にすることなどが重要だということ学んだ。